

循環器急性期におけるうつのスクリーニングの意義とスクリーニングの実際

循環器急性期におけるうつ

循環器急性期には、身体症状が強く病状が不安定であること、「心臓」という生命の象徴である臓器の障害であることにより、患者は、生命を維持していけるのか、回復していくのかという生命の喪失への不安が高まる時期となります。循環器疾患は内部臓器障害であり、患者自身が自己の病状を正しく知覚できず、ストレスをうまくコーピングできないため、危機状態に陥りやすいことが特徴です。身体状態の回復や危機介入によりメンタルが安定することも多いのですが、長期の補助循環やカテコラミン投与により活動制限を余儀なくされている重症心不全の患者やICD ストーム(MEMO4)の患者などは、現実にはうまく適応できずにうつ状態になることがあります。したがって、患者の気分の落ち込みを「急性期だから仕方ない」「誰もが感じる心因反応である」と断定しないことが肝要です。

そして心不全症状はうつ症状と類似しており、鑑別が難しいのが特徴です。本事例においても、

重症ポンプ失調で心不全コントロールに難渋していたこともあり、心不全症状とうつ症状の鑑別が難しく、回復の評価も難しい状況でした。したがって、重症心不全患者のうつを見逃さず、適切な治療へつなげるためには、まずスクリーニングを行うことが必要であると考えます。

うつのスクリーニング

うつのスクリーニングには、BDI (Beck Depression Inventory)、PHQ-9 などがあります。このうち PHQ-9 (表1) は、米国精神医学会の診断基準に準拠した日本語版の有用性が検討され

MEMO 4

●ICD ストーム●

短期間に持続性心室頻拍や心室細動を繰り返す状態を「electrical storm」と呼びます。ICD 植込み症例では、24 時間以内に 3 回以上の正常作動が発生した場合を「ICD storm」といいます。ICD 患者におけるストームは予後不良因子となります。

表1 PHQ (Patient Health Questionnaire) -9

この 2 週間、次のような問題にどのくらい頻繁に悩まされていますか？
1. 物事に対してほとんど興味がなく、または楽しめない
2. 気分が落ち込む、憂うつになる、または絶望的な気持ちになる
3. 寝付きが悪い、途中で目が覚める、または逆に眠り過ぎる
4. 疲れた感じがする、または気力がない
5. あまり食欲がない、または食べ過ぎる
6. 自分はダメな人間だ、人生の敗北者だと気に病む、または自分自身あるいは家族に申し訳がないと感じる
7. 新聞を読む、またはテレビを見ることなどに集中することが難しい
8. 他人が気づくぐらいに動きや話し方が遅くなる、あるいはこれと反対に、そわそわしたり、落ちつかず、ふだんよりも動き回ることがある
9. 死んだほうがましだ、あるいは自分を何らかの方法で傷つけようと思ったことがある

全くない：0 点、数日：1 点、半分以上：2 点、ほとんど毎日：3 点

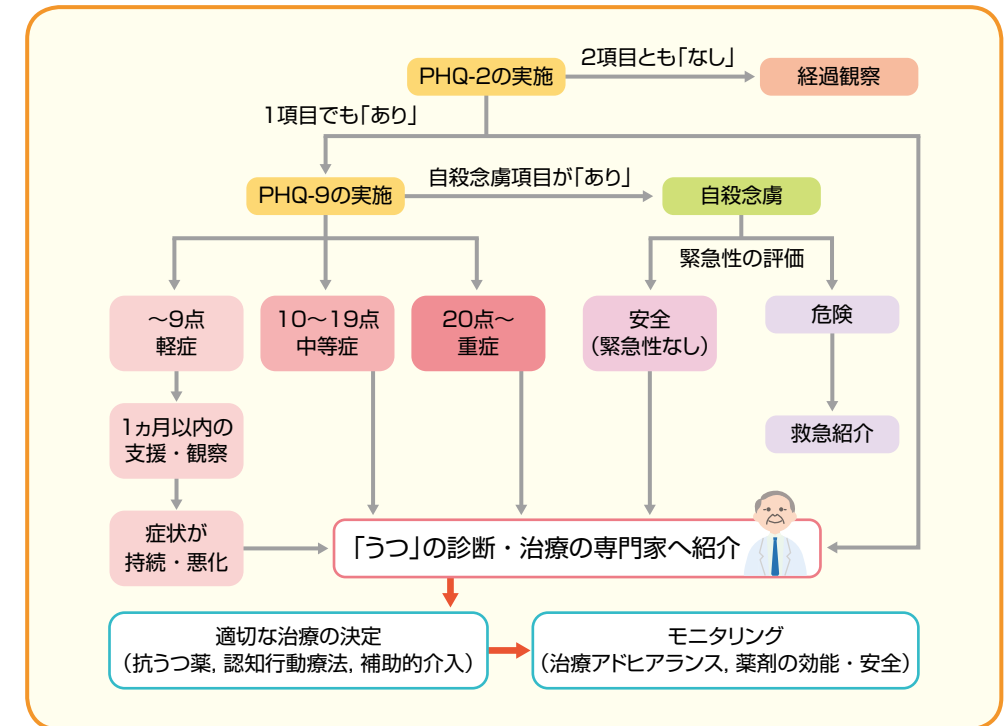


図1 AHA statement に基づくうつスクリーニングのプロセス（文献1より引用改変）

ている簡便な尺度です。スクリーニングプロセスに応じた治療指針が提言されており、介入に役立てることができるという利点があります。当病棟でも、2012 年からうつの身体症状や中核症状がみられた症例に対して PHQ-9 スクリーニングを実施し、米国心臓協会（AHA）の statement に基づくうつスクリーニングのプロセス (図1) を参考に、医師と調整しながら精神科につなぐなどの治療方針の決定を行っています。そして、2 週間ごとに継続評価を行い、症状の増悪や緩解を評価し、適切な治療へつなげて重症化の予防に努めています。A 氏の事例においても、PHQ-9 スクリーニングのプロセスをもとに介入を行い、定期的なうつスクリーニングの評価によるモニタリングを実施することで、重症化を予防することができました。

うつスクリーニングの有用性と適切な環境整備のあり方

うつスクリーニング取り組み前は、患者の焦燥感や睡眠障害などの症状について医師に相談すると、「心因反応だから仕方がない」「メンタルケアは看護師さんの仕事」など、精神症状をチームで共有することが難しい状況が少なからずありました。しかし、スクリーニングを実施することで、患者の精神状態を客観的にとらえることができ、医療者間での情報の共有化が図れるようになりました。そして、スクリーニングの得点をもとに、患者の精神状態に関するディスカッションを行い、ケアや治療方針の共有化を図ることができるようになりました。これにより早期に精神科コンサルトへつないで適切な治療へ移行し、重症化を予防できるようになりました。また、対象者にとっても、スクリーニングの実施は感情表出の場や心理教育の一環となり、メンタルケアにつながって